

◆ 今週のコメント

- ・ アメーバ赤痢(腸管アメーバ症)の報告が1例(男性, 70歳代)あります。症状は大腸粘膜の異常所見で, 推定感染経路は不明です。本年初めての報告となっています。
- ・ 梅毒(早期顕症Ⅱ期)の報告が1例(男性, 30歳代)あります。症状は梅毒性バラ疹で, 推定感染経路は性的接触(同性間)です。本年の累積報告数は2例となっています。
- ・ インフルエンザの定点当たり報告数は11.37(773例)で, 第3週(1月12日～1月18日)以降, 4週連続で減少していますが, 依然として注意報レベルの「10.0」を超えています。こまめな手洗い, 咳やくしゃみが出る時のマスク着用など, 基本的な感染予防に加えてバランスの良い食事と十分な休養を取るよう心掛けましょう。
なお, 今シーズンのインフルエンザ発生状況を下記に掲載しています。
<http://www.city.kyoto.lg.jp/hokenfukushi/page/0000102856.html>

◆ 今週のトピックス: <A群溶血性レンサ球菌咽頭炎>

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり報告数は1.10で, 前週に続いて増加し本年度で最も多い報告数となりました。詳細をトピックスに掲載しています。

◆ 発生状況

全数把握の感染症

- ・ 五類:アメーバ赤痢(腸管アメーバ症) 1例【1月以降の累積報告数 1例】
- ・ 五類:梅毒(早期顕症Ⅱ期) 1例【1月以降の累積報告数 2例】

定点把握の主な感染症

(市内定点数 インフルエンザ定点68, 小児科定点41, 眼科定点10, 基幹定点1)

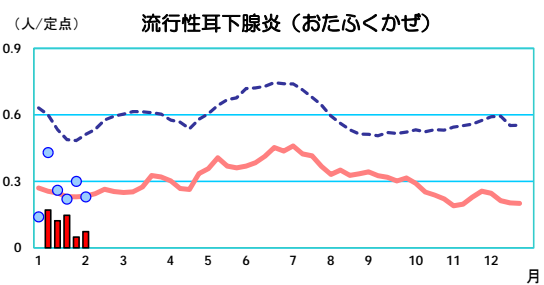
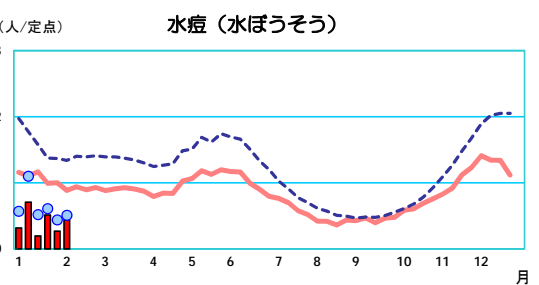
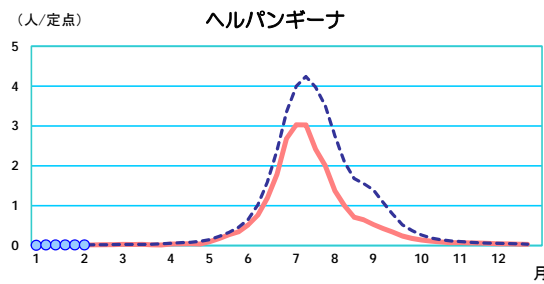
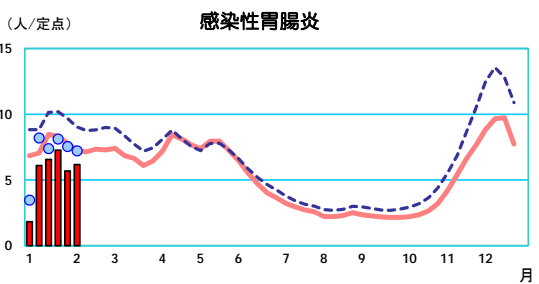
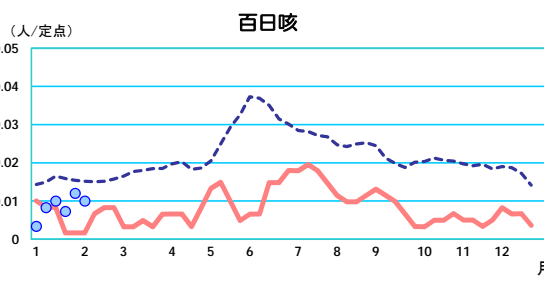
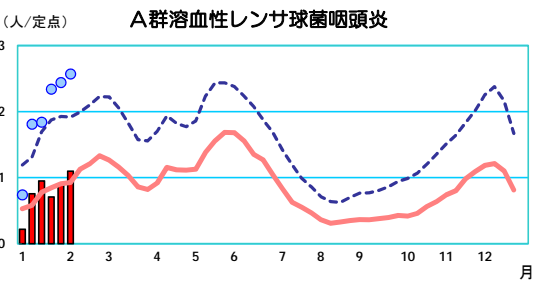
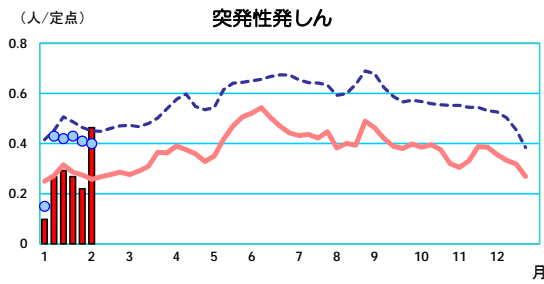
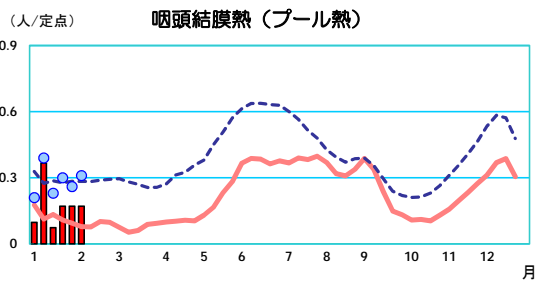
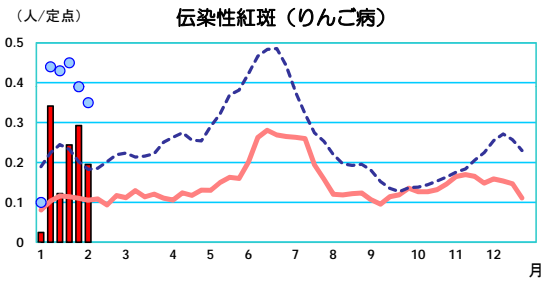
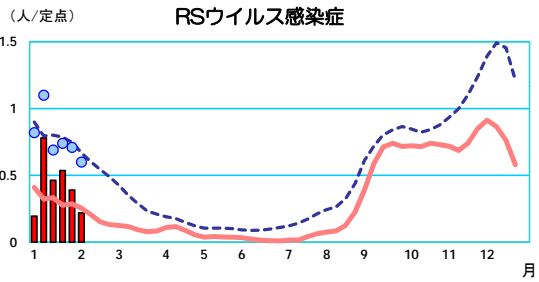
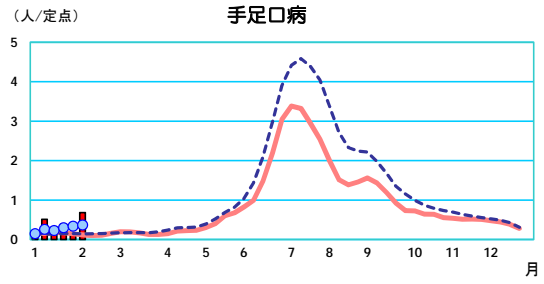
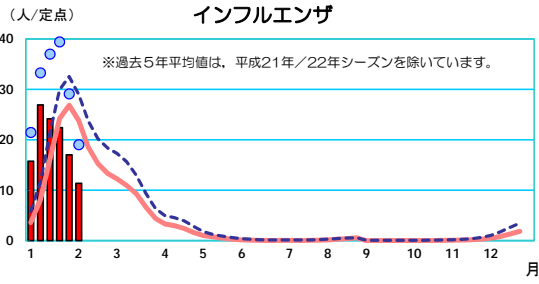
定点	感染症名	定点当たり報告数	報告数
インフルエンザ*	インフルエンザ	11.37	773
小児科 (降順5位まで)	① 感染性胃腸炎	6.17	253
	② A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.10	45
	③ 手足口病	0.68	28
	④ 突発性発しん	0.46	19
	⑤ 水痘	0.44	18
眼科	流行性角結膜炎	0.50	5

【次ページ以降の主な内容】

発生状況の概況グラフ / 今週のトピックス: <A群溶血性レンサ球菌咽頭炎>
付表(疾病, 行政区別報告数 / 年齢階級, 疾病別報告数 / 週, 疾病別報告数)

(注)京都市のデータは,平成27年2月13日現在の報告数で,全国の還元データと若干異なる場合があります。
また,本情報での患者数は,届出医療機関所在地での集計で,患者の住所を示すものではありません。

インフルエンザ及び小児感染症の疾病別推移グラフ（平成27年）



第6週(2月2日～2月8日)トピックス: <A群溶血性レンサ球菌咽頭炎>

京都市の発生動向

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり報告数は1.10と、前週に続いて増加し、本年度で最も多い報告数となりました。また、今週の報告数は京都市の過去5年平均値を上回っています。さらに全国の定点当たり報告数(2.57)も5週連続で増加しており、過去5年平均値を上回っています。2月に報告数の増える傾向があることから、今後の発生動向に注意が必要です。

症状

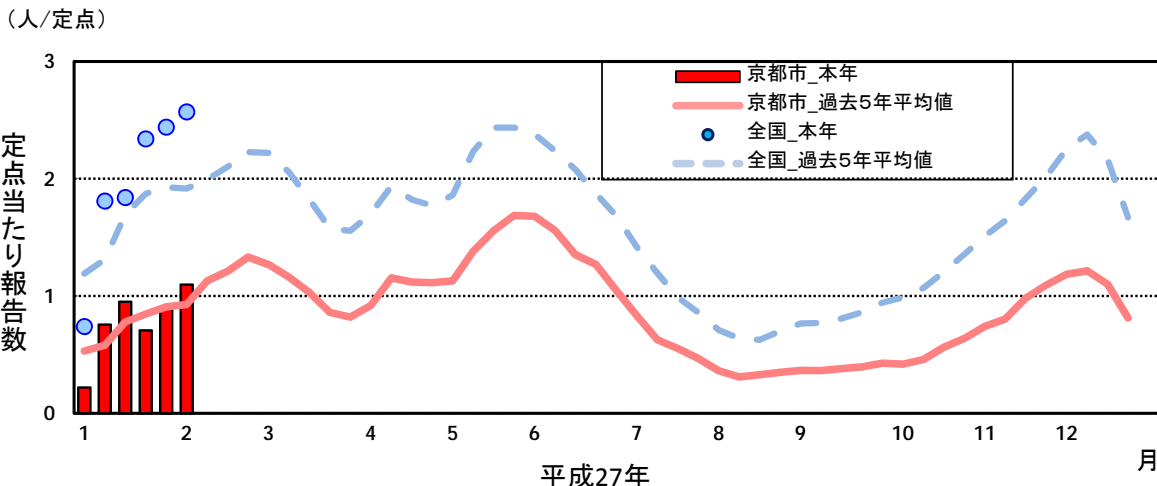
潜伏期間は2～5日で、突然の発熱、咽頭痛、全身倦怠感によって発症し、しばしば嘔吐を伴います。通常、3～5日以内に解熱し、1週間以内に主症状が消失する予後良好の疾患です。しかし、A群溶血性レンサ球菌が産生する毒素に免疫のない人は、皮膚の発疹や舌の発赤が現れる「猩(しょう)紅熱」という状態になることがあります。合併症には肺炎、髄膜炎、敗血症、リウマチ熱、急性糸球体腎炎などがあります。

感染経路及び予防

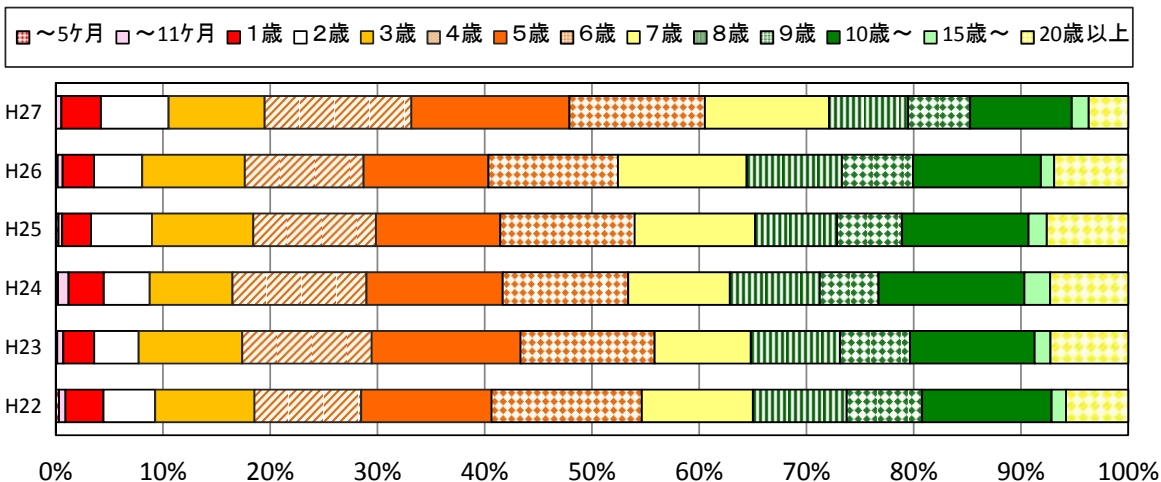
感染経路は、主にヒトからヒトへの飛沫感染や接触感染です。通常は患者との接触を介して伝播するため、人との接触の機会が増加するときに発生しやすく、家庭での兄弟間や、学校、幼稚園、保育園など小児の集団生活施設での感染も多くみられます。本市の年齢階級別割合をみると、例年9歳以下で全報告数の80%前後を占めています。

予防としては、患者との濃厚接触を避けることが最も重要です。うがい、手洗いなどの一般的な予防を行うことが大切です。マスクを用いた咳エチケット(周囲への感染予防のためにマスクを着用すること)も効果が期待できます。

京都市及び全国の定点当たり報告数の推移



年齢階級別割合(京都市)



※平成27年は第6週までの報告数に基づく

T3201

京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:平成27年第6週

疾病,行政区別報告数

平成27年2月2日～平成27年2月8日

データ入手日:平成27年2月13日

	インフルエンザ(※1)	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	頭炎 A群溶血性レンサ球菌咽	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎(※2)	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎(※3)	感染性胃腸炎(※4)	
男女合計																				
北	52	2	1	3	11	-	-	1	1	-	-	-	-	-						
上京	51	1	-	3	8	-	-	-	3	-	-	-	-	-						
左京	102	-	-	1	46	1	4	-	-	-	-	1	-	-						
中京	42	1	-	1	6	4	-	-	1	-	1	-	-	1	-	1	-	-	-	-
東山	20	1	-	1	16	-	1	-	-	-	1	-	-	-						
山科	74	1	-	1	5	1	-	1	-	-	-	-	-	-						
下京	22	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-						
南	66	-	2	7	30	2	11	1	-	-	1	-	-	-						
右京	78	-	-	14	43	5	7	1	3	-	-	2	-	4						
伏見	122	3	4	8	36	1	3	-	8	-	-	-	-	-						
西京	144	-	-	6	50	4	2	4	3	-	-	-	-	-						
京都市計	773	9	7	45	253	18	28	8	19	-	3	3	-	5	-	1	-	-	-	-

性,疾病,保健所別定点当たり報告数

	インフルエンザ(※1)	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	頭炎 A群溶血性レンサ球菌咽	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎(※2)	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎(※3)	感染性胃腸炎(※4)	
男女合計																				
北	7.43	0.50	0.25	0.75	2.75	-	-	0.25	0.25	-	-	-	-	-						
上京	10.20	0.33	-	1.00	2.67	-	-	-	1.00	-	-	-	-	-						
左京	14.57	-	-	0.25	11.50	0.25	1.00	-	-	-	-	0.25	-	-						
中京	8.40	0.33	-	0.33	2.00	1.33	-	-	0.33	-	0.33	-	-	0.50	-	1.00	-	-	-	-
東山	6.67	0.50	-	0.50	8.00	-	0.50	-	-	-	0.50	-	-	-						
山科	10.57	0.25	-	0.25	1.25	0.25	-	0.25	-	-	-	-	-	-						
下京	7.33	-	-	-	1.00	-	-	-	-	-	-	-	-	-						
南	13.20	-	0.67	2.33	10.00	0.67	3.67	0.33	-	-	0.33	-	-	-						
右京	9.75	-	-	2.80	8.60	1.00	1.40	0.20	0.60	-	-	0.40	-	4.00						
伏見	11.09	0.43	0.57	1.14	5.14	0.14	0.43	-	1.14	-	-	-	-	-						
西京	20.57	-	-	1.50	12.50	1.00	0.50	1.00	0.75	-	-	-	-	-						
京都市計	11.37	0.22	0.17	1.10	6.17	0.44	0.68	0.20	0.46	-	0.07	0.07	-	0.50	-	1.00	-	-	-	-

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが、新型インフルエンザのうち、A/H1N1については含む。

※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

※3 クラミジア肺炎はオウム病を除く。

※4 感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。

京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:平成27年第6週

年齢階級, 疾病別報告数

平成27年2月2日～平成27年2月8日

データ入手日:平成27年2月13日

京都市	年齢1	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳-	80歳以上
	年齢2	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳-	80歳以上
	年齢3	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳以上	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳以上	
男女合計	年齢4	総数	0歳	1歳-	5歳-	10歳-	15歳-	20歳-	25歳-	30歳-	35歳-	40歳-	45歳-	50歳-	55歳-	60歳-	65歳-	70歳以上				
インフルエンザ(※1)	年齢1	773	4	7	27	31	19	45	51	47	47	54	49	153	24	42	55	56	24	13	11	14
RSウイルス感染症	年齢3	9	1	3	4	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
咽頭結膜熱		7	-	1	1	2	1	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		45	-	-	-	1	3	9	10	8	7	1	3	2	-	1	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎		253	3	8	29	19	13	19	17	24	19	13	13	29	5	42	-	-	-	-	-	-
水痘		18	-	-	4	3	2	3	1	4	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
手足口病		28	-	-	8	10	4	3	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
伝染性紅斑		8	-	-	-	2	-	-	-	1	1	2	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-
突発性発しん		19	-	8	10	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
百日咳		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ		3	-	-	1	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
流行性耳下腺炎		3	-	-	-	1	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
急性出血性結膜炎		年齢2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎		5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	1	-	1	1	-
細菌性髄膜炎(※2)		年齢4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	1		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	
マイコプラズマ肺炎	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
クラミジア肺炎(※3)	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
感染性胃腸炎(※4)	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	

性,年齢階級, 疾病別定点当り報告数

京都市	年齢1	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳-	80歳以上
	年齢2	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳-	80歳以上
	年齢3	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳以上	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳以上	
男女合計	年齢4	総数	0歳	1歳-	5歳-	10歳-	15歳-	20歳-	25歳-	30歳-	35歳-	40歳-	45歳-	50歳-	55歳-	60歳-	65歳-	70歳以上				
インフルエンザ(※1)	年齢1	11.37	0.06	0.10	0.40	0.46	0.28	0.66	0.75	0.69	0.69	0.79	0.72	2.25	0.35	0.62	0.81	0.82	0.35	0.19	0.16	0.21
RSウイルス感染症	年齢3	0.22	0.02	0.07	0.10	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
咽頭結膜熱		0.17	-	0.02	0.02	0.05	0.02	-	0.02	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		1.10	-	-	-	0.02	0.07	0.22	0.24	0.20	0.17	0.02	0.07	0.05	-	0.02	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎		6.17	0.07	0.20	0.71	0.46	0.32	0.46	0.41	0.59	0.46	0.32	0.32	0.71	0.12	1.02	-	-	-	-	-	-
水痘		0.44	-	-	0.10	0.07	0.05	0.07	0.02	0.10	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
手足口病		0.68	-	-	0.20	0.24	0.10	0.07	0.07	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
伝染性紅斑		0.20	-	-	0.05	-	-	-	-	0.02	0.02	0.05	-	0.05	-	-	-	-	-	-	-	-
突発性発しん		0.46	-	0.20	0.24	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
百日咳		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ		0.07	-	-	0.02	-	-	-	-	-	-	0.02	-	-	0.02	-	-	-	-	-	-	-
流行性耳下腺炎		0.07	-	-	-	0.02	-	-	-	0.05	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
急性出血性結膜炎		年齢2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎		0.50	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.20	0.10	-	0.10	0.10	-
細菌性髄膜炎(※2)		年齢4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	1.00		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1.00	-	-	-	-	-	-	-	-	
マイコプラズマ肺炎	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
クラミジア肺炎(※3)	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
感染性胃腸炎(※4)	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが、新型インフルエンザのうち、A/H1N1については含む。

※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

※3 クラミジア肺炎はオウム病を除く。

※4 感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。

T3203

京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:平成27年第6週

週, 疾病別報告数

データ入手日:平成27年2月13日

京都市 男女合計	5週前	4週前	3週前	2週前	1週前	今週
インフルエンザ(※1)	1,070	1,830	1,643	1,523	1,158	773
RSウイルス感染症	8	32	19	22	16	9
咽頭結膜熱	4	15	3	7	7	7
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	9	31	39	29	37	45
感染性胃腸炎	75	250	269	298	233	253
水痘	13	29	8	21	11	18
手足口病	6	21	10	16	5	28
伝染性紅斑	1	14	5	10	12	8
突発性発しん	4	11	12	11	9	19
百日咳	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ	1	4	3	2	-	3
流行性耳下腺炎	-	7	5	6	2	3
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	-	6	1	1	-	5
細菌性髄膜炎(※2)	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	1
マイコプラズマ肺炎	-	1	-	-	-	-
クラミジア肺炎(※3)	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎(※4)	-	-	-	-	-	-
合計	1,191	2,251	2,017	1,946	1,490	1,172

性,週, 疾病別定点当たり報告数

京都市 男女合計	5週前	4週前	3週前	2週前	1週前	今週
インフルエンザ(※1)	15.74	26.91	24.16	22.40	17.03	11.37
RSウイルス感染症	0.20	0.78	0.46	0.54	0.39	0.22
咽頭結膜熱	0.10	0.37	0.07	0.17	0.17	0.17
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.22	0.76	0.95	0.71	0.90	1.10
感染性胃腸炎	1.83	6.10	6.56	7.27	5.68	6.17
水痘	0.32	0.71	0.20	0.51	0.27	0.44
手足口病	0.15	0.51	0.24	0.39	0.12	0.68
伝染性紅斑	0.02	0.34	0.12	0.24	0.29	0.20
突発性発しん	0.10	0.27	0.29	0.27	0.22	0.46
百日咳	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ	0.02	0.10	0.07	0.05	-	0.07
流行性耳下腺炎	-	0.17	0.12	0.15	0.05	0.07
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	-	0.60	0.10	0.10	-	0.50
細菌性髄膜炎(※2)	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	1.00
マイコプラズマ肺炎	-	1.00	-	-	-	-
クラミジア肺炎(※3)	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎(※4)	-	-	-	-	-	-
合計	18.69	38.61	33.36	32.79	25.13	22.45

※1 鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが、新型インフルエンザのうち、A/H1N1については含む。

※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

※3 オウム病を除く。

※4 病原体がロタウイルスであるものに限る。